

姫路市下水道事業経営戦略

令和6年度の取り組み実績

令和7年9月1日

姫路市 上下水道局

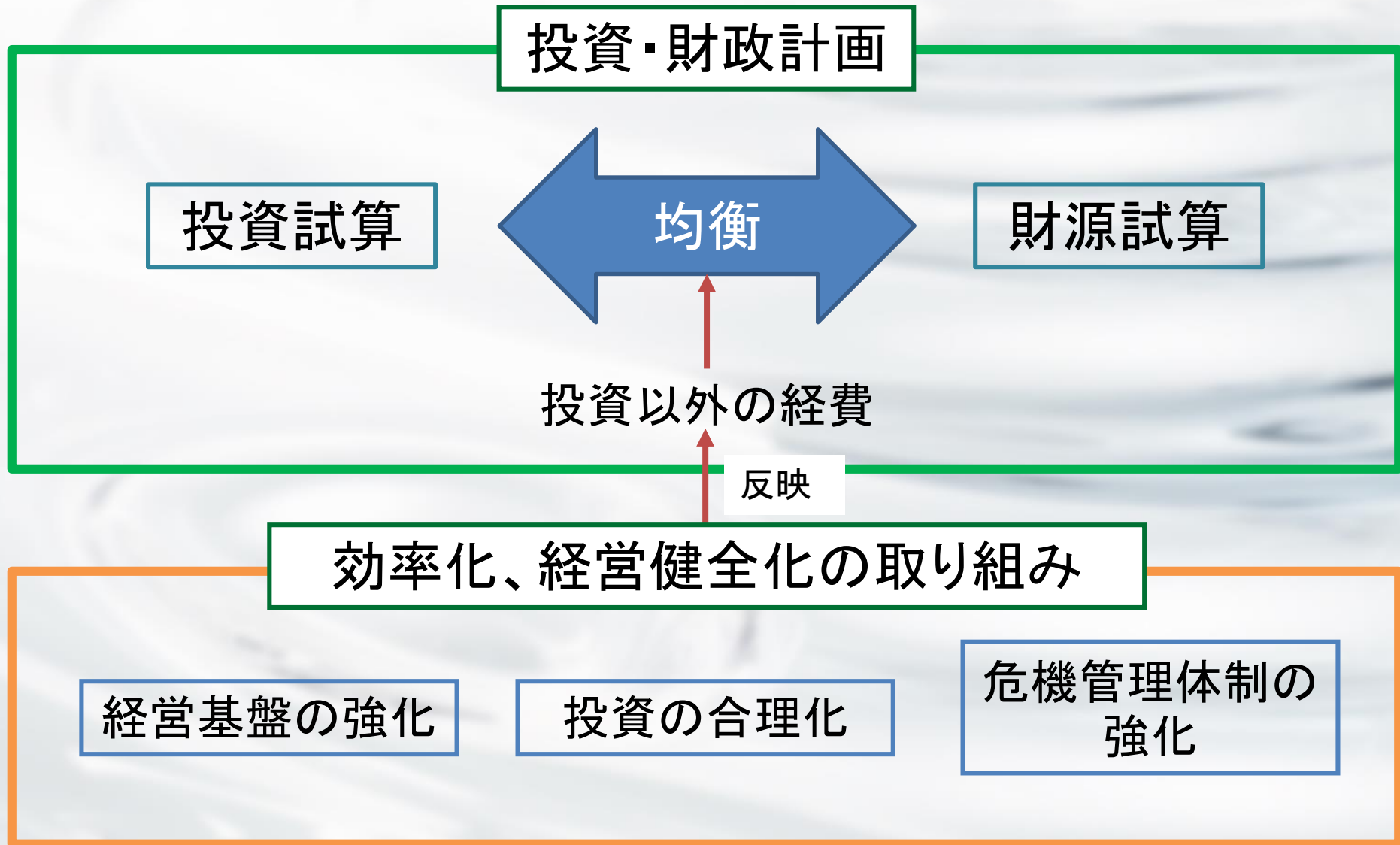
姫路市下水道事業経営戦略 計画期間について



➡ 旧・姫路市下水道事業経営戦略は、令和6年度が最終年度

基本方針

安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に提供する



施策体系

施策目標	取組項目
1 経営基盤の強化	(1) 組織の活性化と人材の育成
	(2) 効率的な組織の整備
	(3) 定員管理の推進
	(4) 職員の給与の適正化
	(5) 民間の資金・ノウハウの活用
	(6) 処理区域内での早期水洗化の促進
	(7) 収納率の向上
	(8) 資産の有効活用等
	(9) 資金管理・調達に関する取組
	(10) 不明水対策
	(11) その他経営基盤強化の取組
2 投資の合理化	(1) 計画的な投資と長寿命化
	(2) 民間の資金・ノウハウの活用
	(3) 新技術の活用
	(4) 日本下水道事業団への設計、工事委託
3 危機管理体制の強化	(1) 危機管理等の体制整備
	(2) 施設の耐震化
	(3) 公共用水域の水質保全

投資計画等

	取組項目
4 投資計画	(1) 老朽化対策事業
	(2) 浸水対策事業
	(3) コミュニティ・プラントと集落排水処理施設の公共下水道への統廃合事業
5 その他	(1) 経営の健全性の確保

経営基盤の強化

施策1、2

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(1) 組織の活性化と人材の育成	・兵庫県まちづくり技術センター等の主催する技術系研修への参加（継続） ・局内勉強会「ひめ塾」の開催（継続） 【ひめ塾開催回数と参加人数（延べ）】 ※下水道事業関係 ・令和6年度（8回）・・・406人	・専門技術、知識の獲得 ・局内外での人材交流	—			○
(2) 効率的な組織の整備	・街路、道路、区画整理部局等との施工工事事前調整会議を通じた合併施工の推進（継続）	・合併施工による工事費の削減及び工期短縮	—			○
	・水道料金、下水道使用料の検針、徴収等事務の一本化（継続）	・納付書発行、収納事務などの効率化	—			○
	・給水装置（新設・改造）設備及び宅内排水設備の検査のうち、双方設備の完成が同時期のものは同時検査を実施（継続）	・検査に要する職員の時間移動にかかる燃料費などを削減	—			○
R6 検査総数2,096件 うち同時検査1,331件						

- ・局内勉強会である「ひめ塾」を定期的実施し、専門技術・知識の取得に努めるとともに、局内外での人材交流に寄与した
- ・関係部局との施工工事事前調整会議や検針・徴収事務の一本化、給排水設備の同時検査など、効率的な事務の実施に努めた



- ・今後も継続して局内外の人材交流に努めるとともに、効率的な事務の実施に取り組む

経営基盤の強化

施策1 組織の活性化と人材の育成

「ひめ塾 ～下水道場～」(局内勉強会)の開催

No	主題	開催日
1	下水道マンホール蓋の歩みと今後の展開	R6.6.14
2	R5決算、R7予算について	R6.8.22
3	気候変動に対応するための流域治水	R6.9.12
4	管きょ更生・修繕工法	R6.10.10
5	測量をやってみよう	R6.11.8
6	契約事務について	R7.2.6
7	公共政策を科学する(市長講演)	R7.2.20
8	新たな姫路市下水道経営戦略	R7.3.14



第5回 資料



第7回 市長講演の様子

経営基盤の強化

施策3～5

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(3) 定員管理の推進	- 中部析水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（R4.12～R7.11） - 家島浄化センター、清水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（2期目）（R4.4～R7.3） - 下水道管路施設包括的維持管理等業務委託（2期目）（R6.4～R9.3）	・定員管理の適正化	—			○
(4) 職員の給与の適正化	- 国家公務員の一般職員の給与改定に準じた給与改定の実施（R6年度は12月に実施） - 毎月6日（7,8月は8日）以上の定時退庁日の勧奨（継続）	- 職員のワークライフバランスの実現 - 時間外手当の削減	—			○
(5) 民間の資金・ノウハウの活用	- 中部析水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（R4.12～R7.11） - 家島浄化センター、清水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（2期目）（R4.4～R7.3） - 下水道管路施設包括的維持管理等業務委託（2期目）（R6.4～R9.3）	・業務の効率化	—			○

- ・中部、家島、香寺の各処理施設において、運転管理業務の包括的民間委託を実施（継続）
- ・毎月6日以上の定時退庁を勧奨（継続）
- ・揖保川処理区での下水道管路施設包括的維持管理等業務委託を実施（継続）

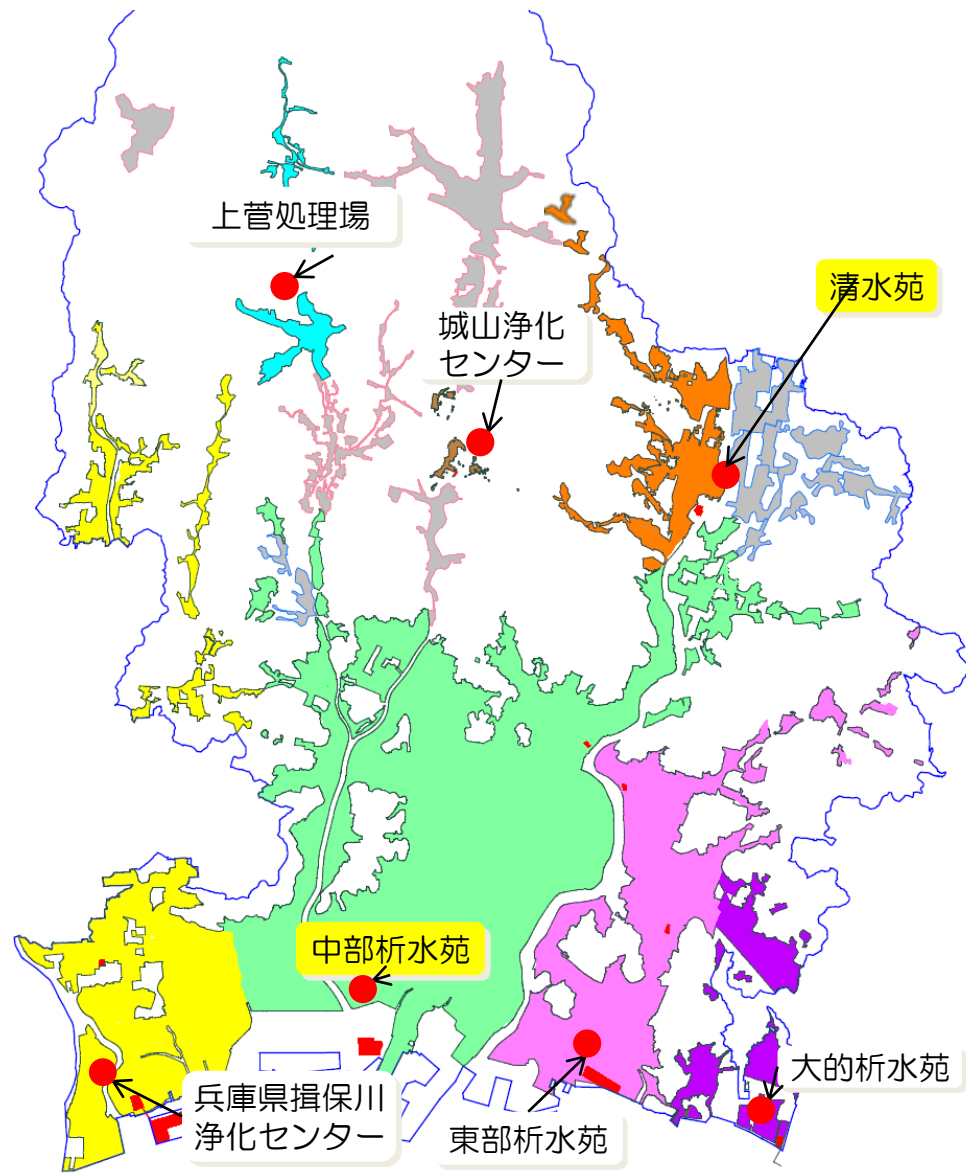


- ・包括的民間委託の導入について効果を検証するとともに、検証結果を踏まえた導入拡大を検討する予定

～ 包括的民間委託の推進 ～

下水処理施設の維持管理業務

- ◇ 清水苑
令和4年4月～令和7年3月(2期目)
- ◇ 家島浄化センター
令和4年4月～令和7年3月(2期目)
- ◇ 中部析水苑
令和4年12月～令和7年11月



下水道管路施設の維持管理等業務

◇ 対象施設

揖保川処理区(2期目)※黄色の範囲

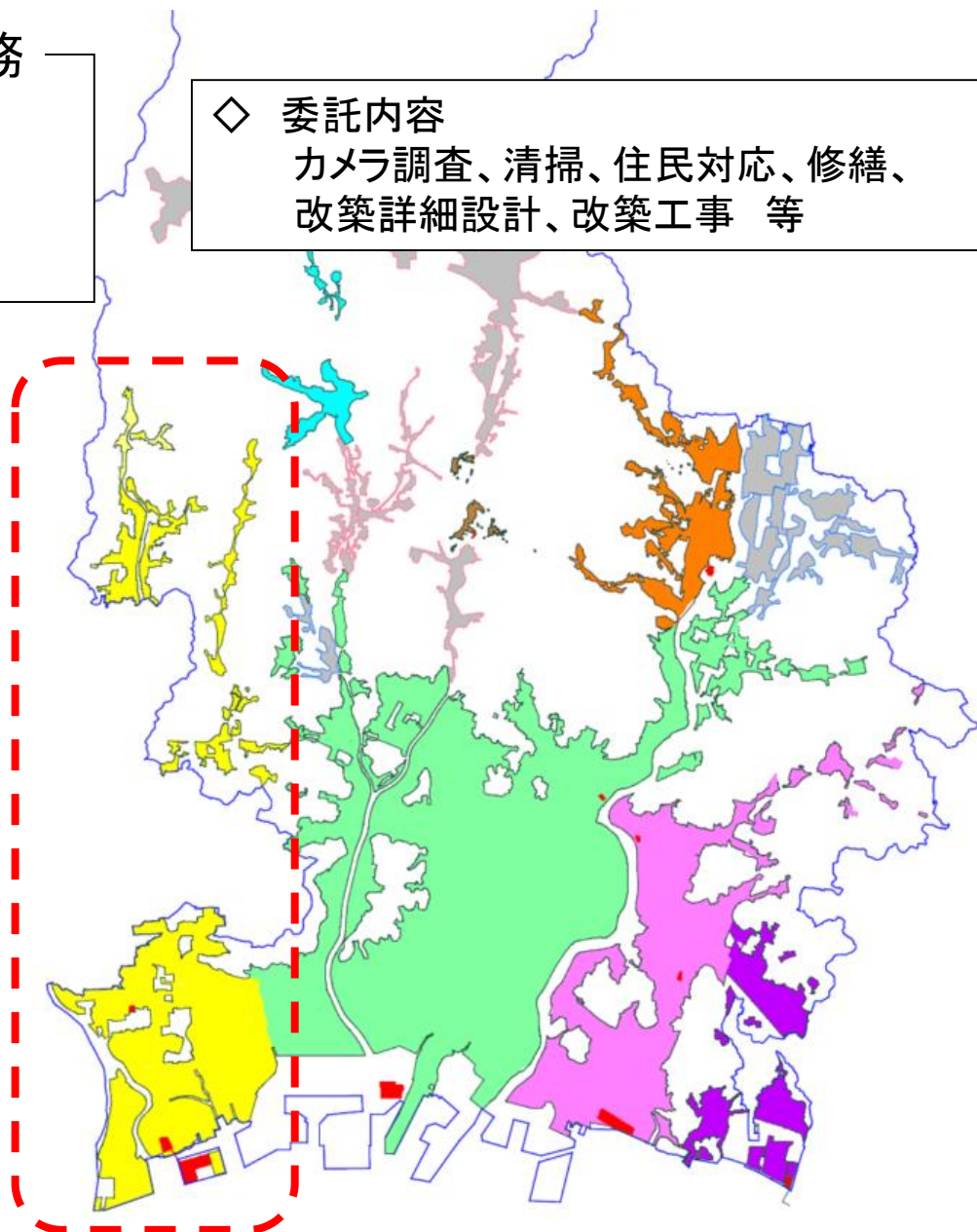
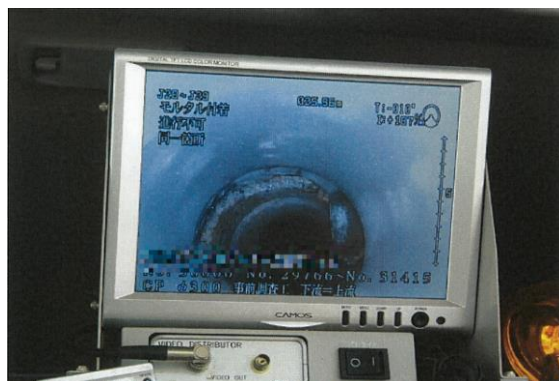
◇ 期間

令和6年4月～令和9年3月

◇ 委託内容

カメラ調査、清掃、住民対応、修繕、
改築詳細設計、改築工事 等

(カメラ調査の様子)



経営基盤の強化

施策6、7

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(6) 処理区域内での早期水洗化の促進	- 業務委託による水洗化指導（継続） R6：指導 394件 → 水洗化 17件 - 水洗便所改造に対する資金貸付（継続） 1 設備につき450,000円以内、30ヶ月均等払 R6：0件（R3～R5：計 5件）	・衛生環境の向上	—			○
(7) 収納率の向上	【未収金対策】 ・電話催告及び催告書類の発送 ・訪問徴収、納付指導の実施（休日訪問指導を含む） R6実績（納付再開件数） 下水道使用料 18件 受益者負担金 9件 計 27件 【債権移管】 ・納税課へ債権移管を依頼 R6実績（納付再開件数） 下水道使用料 3件 【井戸水使用水量の適正な把握】 ・世帯人数調査による井戸水使用状況の把握 ・世帯人数の変更に伴う認定水量の変更 R6実績 対象数：2,044件（うち変更：136件）	・収納率の向上 ・下水道使用料賦課の公平性の確保	【下水道使用料収納率】 令和6年度 収納率 【受益者負担金】 令和6年度収納率	【下水道使用料収納率】 99.8% 【受益者負担金】 100%	【下水道使用料収納率】 99.3%（R5：99.3%） 【受益者負担金】 99.9%（R5：99.8%）	△

- ・電話、書類での催告、訪問徴収、納付指導等を実施し、収納率の向上に努めたが、目標の収納率を下回った



- ・債権整理部署への積極的な債権移管や新技術の活用などにより、収納率の向上に取り組む

経営基盤の強化

施策8～10

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(8) 資産の有効活用等	- 太陽光発電売電収入 R6 28,640千円 - 財産目的外使用料（東部処理場の土地等） R6 18,620千円	未利用資産の有効活用による収入増	—			○
(9) 資金管理・調達に関する取組	R6 借入47.2億円 元金均等方式 償還91.5億円	企業債残高の減少による支払利息の減	—			○
(10) 不明水対策	- AIによる音響データを用いた雨天時侵入水発生エリアの絞り込み - 老朽化対策としての管更生 - OTVカメラ調査延長 R6 3.5km - 管渠更生延長 R6 2.2km	- 不明水対策経費の削減 - 老朽化した下水道管の早期発見 - 老朽管による陥没事故等の予防 - 有収率の向上	有収率 (%)	68.4% (R元実績) 以上	66.7% (R5: 65.6%)	△

- 老朽化対策として管渠更生を実施し、有収率は1.1ポイント前年度より改善したものの、目標値には1.7ポイント届かなかった



- 簡易調査としてスクリーニング調査を広範囲に実施するとともに、より積極的なカメラ調査、管渠更生延長の延伸に取り組む

不明水量

(処理場で処理した汚水量(汚水処理水量)) - (各使用者の使用水量の合計(有収水量))

図 処理水量の内訳

処理水量

雨水処理水量
(合流式のみ)

汚水処理水量

有収水量

不明水量

老朽化や地下水位の変動等により、日最大汚水量の10～20%程度の流入が標準的に見込まれる。

地下水量

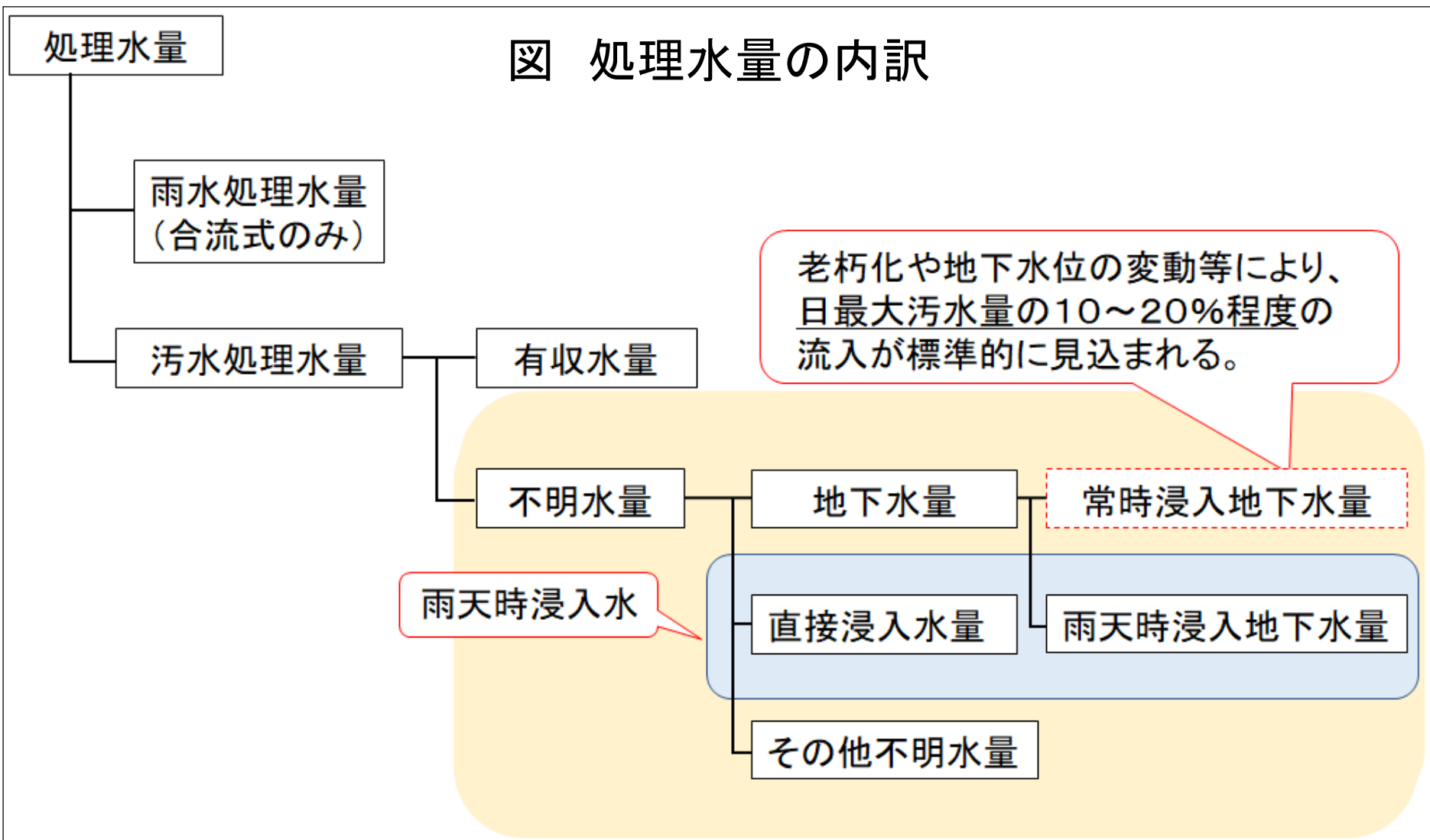
常時浸入地下水量

雨天時浸入水

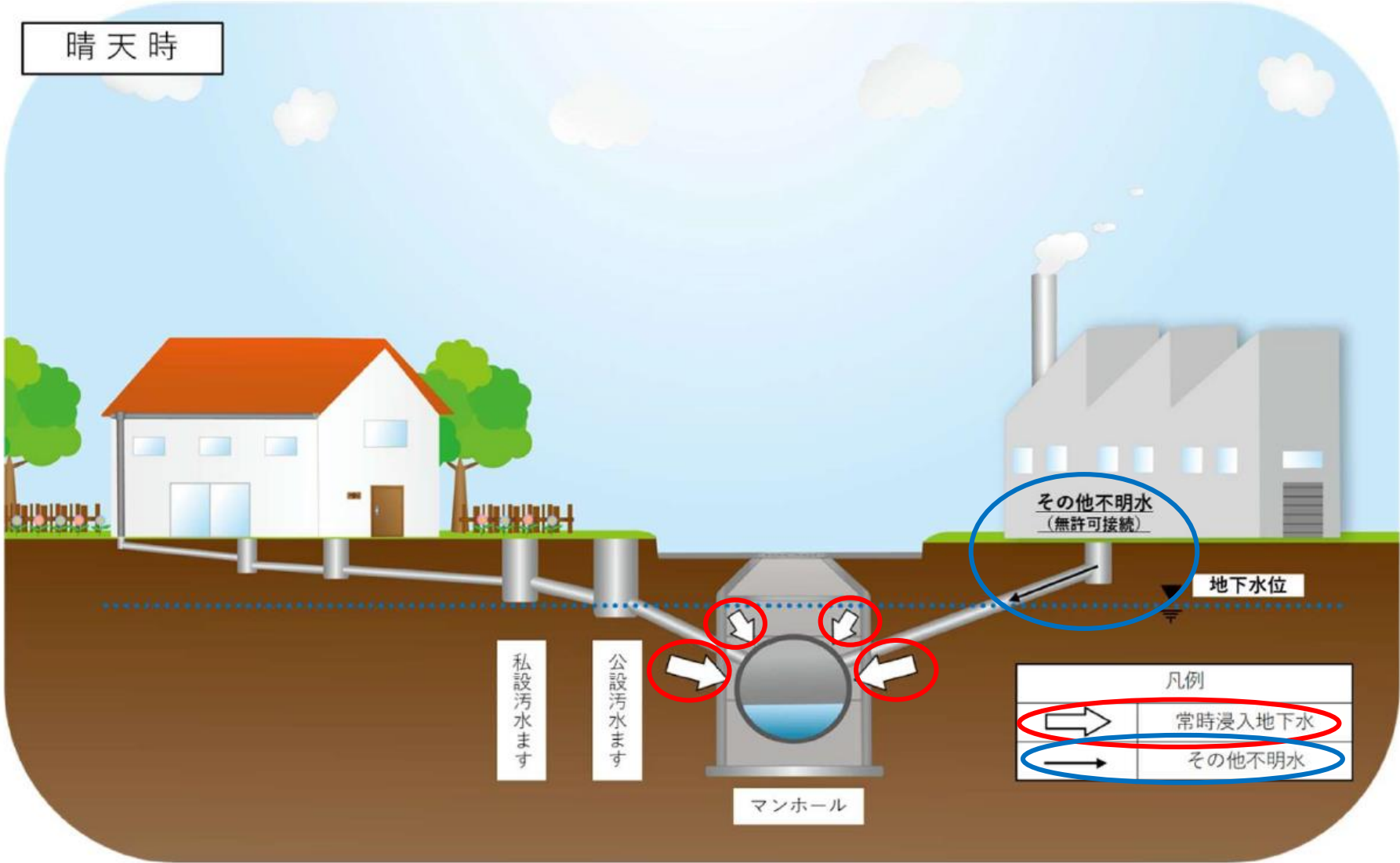
直接浸入水量

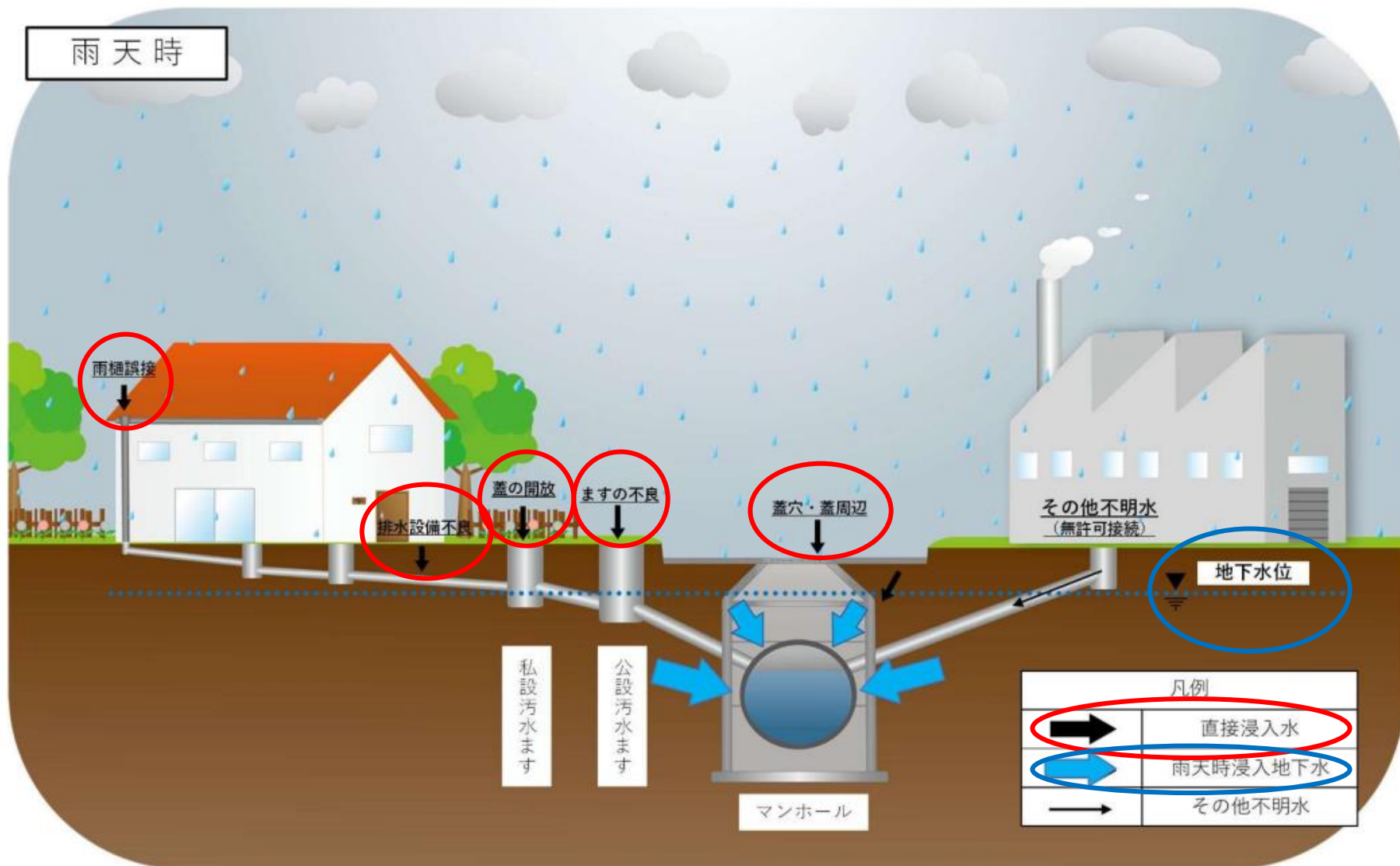
雨天時浸入地下水量

その他不明水量



経営基盤の強化 施策10 不明水対策





経営基盤の強化 施策10 不明水対策

R6年度不明水量(コミプラ、集排を除く)

処理場で処理した汚水量77,182千 m^3 －使用水量の合計51,448千 m^3
 ＝ 25,734千 m^3 (約1／3が不明水)

※ R5：25,239千 m^3 R4：26,128千 m^3 R3：26,389千 m^3

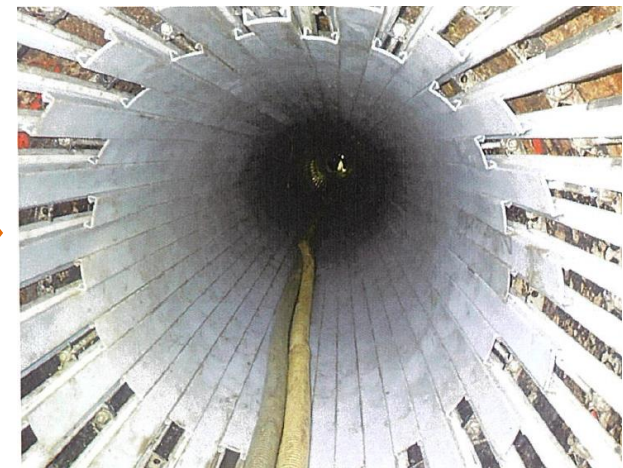
(主な要因)

- ・下水道管の老朽化による損傷部分からの地下水、雨水などの浸入水

損傷部からの浸入水



管更生実施前



管更生実施中

経営基盤の強化

- ・地下水、雨水などの浸入水対策はストックマネジメント制度の活用を基本
- ・ストックマネジメント計画に基づき、管更生等の対策を実施し有収率を改善
- ・一方で、短期的に削減が見込まれるのは変動費（揚水に係る動力費等）のみであり、費用対効果の面から妥当な対象範囲・目標を設定する必要がある→今後検証

経営基盤の強化 施策10 不明水対策

R6年度 取組実績

- ・詳細カメラ調査の実施 調査延長 3.5km
- ・管更生工事 工事延長 2.2km



R7年度～ 目標

- ・スクリーニング調査の実施 調査延長 80km/年
- ・詳細カメラ調査の実施 調査延長 20km/年
- ・管更生工事 工事延長 10km/年



(施工前)



(施工中)



(施工後)

経営基盤の強化

施策1 1－①、②

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(11) その他 経営基盤強化の取組	①前処理場等に係る国、県への要望 R5～ 県補助金（皮革関係） 補助対象範囲拡大→市川水系追加 R6上記補助金収入額 59,224千円	・国、県補助金の有効活用による収入増	—			◎
	②下水道資源の再利用 【汚泥の有効活用】 ・下水汚泥乾燥肥料「いえしまのめぐみ」 R4事業仕分けで事業中止 →物価高騰による肥料値上がりを受け、 R5に事業再開（無料配布） R6生産量：4,269kg	・下水汚泥の有効活用及び汚泥処分費の削減 R6効果額 75.9円/kg × 4,269kg ≒ 324千円 （汚泥処分費用の削減）	—			○
	②下水道資源の再利用 【再生水の有効活用】 ・下水処理を行った後の再生水を販売 中部衛生センター、大塩ゴルフ場 他 R6収入額 6,979千円	・再生水の有効活用及び収入増	—			○
	②下水道資源の再利用 【下水熱の利用等についての研究】 ・セミナー「下水熱利用の基本」への参加による事業スキーム、導入設備の実例等の情報収集（継続） ・下水熱広域ポテンシャルマップの公表（継続）	・将来的な下水熱利用設備導入に向けた検討 ・関心のある方への情報提供	—			○

・ 県との協議により県補助金の対象範囲が拡大し、県補助金収入が増額



・ 今後も継続して国、県と協議し、補助金を積極的に活用するとともに、汚泥、再生水、下水熱等の資源の有効活用に取り組む

経営基盤の強化

施策 1 1－③～⑤

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(11) その他 経営基盤強化の取組	③入札手続き等の適正化 【下水道施設等での電力入札の実施】 R6実績 入札を実施 → 不調	参考（経費削減額） R3 約2,828万円 R4 約2,032万円 R5 約2,062万円	—			○
	④情報発信に関する事項 ・新たな情報発信検討会を開催（年8回） ・姫路市上下水道局広報誌「MIZ! vol.2、vol.3」の発行（年2回） ・動画「姫路市上下水道局の現状」、「上下水道料金の改定について」の制作（2回） ・施設見学や研修を行う「みっズ隊」の実施（1回） ・下水道啓発作品コンクールへの出展作品の募集 ・マンホールカードの配布	・下水道への興味・理解促進に寄与	—			○
	⑤情報通信技術の活用 ・水道、下水道企業会計システムの統合 業者決定、システム構築中（～R7） （R8年度本稼働予定） ・下水道管路情報の電子閲覧（Web公開） （R4.7～）	・サーバーの管理や調達、システム改修等に要する経費の削減 ・職員の負担軽減 ・市民サービスの向上 ・利用者の負担軽減	—			○

- ・ 広報、広聴活動の充実とサービス向上として取り組みを進めており、特に次世代への広報活動として広報誌「MIZ!」、「みっズ隊」を実施



- ・ 広報動画作成やSNSの活用など、さらなる情報発信機能の強化に取り組む

経営基盤の強化 施策1 1－④ その他経営基盤強化の取組

（新たな情報発信の取り組み）

・広報誌の発行（MIZ!）

単なる広報ではなく、受け手に届く情報発信を目指して、若手職員を中心に企画小学生やその保護者をメインターゲットに定め、ターゲット層に最も親しみやすいアプローチを追求

・「みっズ隊」の実施

上下水道に関心のある児童をみっズ隊員に任命

上下水道施設や工事現場の見学、さまざまな体験を通して上下水道に関する知識の習得を図る



（下水処理場見学の様子）

経営基盤の強化

施策 1 1－⑥～⑧

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(11) その他 経営基盤強化の取組	⑥流入水量、水質変化に合わせた下水処理場運転管理の変更 ・ 東部処理場の将来構想について検討 高コストの「酸素活性汚泥法」から低コストの「標準活性汚泥法」へ処理方法を切り替える検討（R4～継続）	・ （実現すれば）維持管理経費の削減	—			○
	⑦下水放流水に含まれる栄養塩類の能動的管理の取組 ・ 豊かな瀬戸内海の再生に向け、栄養塩類管理計画（R4.10 県策定）に基づく下記下水処理場での栄養塩管理運転 家島浄化センター、大的析水苑、中部析水苑、東部析水苑	・ 栄養塩類（全窒素）供給による瀬戸内海の「豊かで美しい里海」としての再生 ・ 処理経費の削減（定量化は困難）	—			○
	⑧その他 ・ 揖保川流域下水道促進協議会の開催（年1回） ・ 兵庫西流域汚泥処理事業会議への参加（年2回） →兵庫県から決算、事業計画等の報告を受け、構成市町（たつの、太子、宍粟）を交えた意見交換を行い、事業の適正な実施を要望	・ 流域下水道事業の適正な執行	—			○

- ・ 東部処理場の処理方法について、より低コストな方法への切り替えを検討中
- ・ 4つの処理場において、栄養塩類の能動的管理
- ・ 流域下水道事業について、県、3市町との定期的な意見交換



- ・ 継続してこれらの事業を実施し、適正な事業執行に努める

投資の合理化

施策1～4

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
2 投資の合理化						
(1) 計画的な 投資と長寿命化	ストックマネジメント計画に基づく投資事業 ・高木川西前処理場脱臭設備他改築工事 (耐用年数10年、経過年数38年) ・東部処理場自家発電設備改築工事実施設計委託 (耐用年数15年、経過年数41年) ・西広畑ポンプ場改築設計委託 (耐用年数15年、経過年数39年) 等	・資産の長寿命化 及び計画的な投資による経費削減	—			○
(2) 民間の資金・ノウハウの活用	・PFIについては、既存施設に合わせた単純更新になり、民間での裁量の余地がないため、対象案件なし ・WPPP対象事業導入可能性調査(香寺、揖保川処理区) →揖保川処理区で導入に向けて準備(R7～)		—			○
(3) 新技術の活用	・高効率型電動機等の採用	・使用電力量の削減(環境負荷低減と経費削減)	—			○
(4) 日本下水道事業団への設計、工事委託	技術的難易度が高い工事において、日本下水道事業団へ設計及び工事を委託 ・八家川第五ポンプ場建設工事(土木・建築)(R2～R6) ・八家川第五ポンプ場建設工事(機械・電気)(R5～R6) ・大塩ポンプ場建設工事(土木・建築)(R1～R7) ・大塩ポンプ場建設工事(機械・電気)(R5～R7) ・中部終末処理場の実施設計(R5～R6)	・職員では対応が難しい工事の実施と綿密な施工管理 ・技術職員不足の補填	—			○

- ・ストックマネジメント計画に基づく合理的な投資事業の実施
- ・WPPP対象事業導入可能性調査の実施



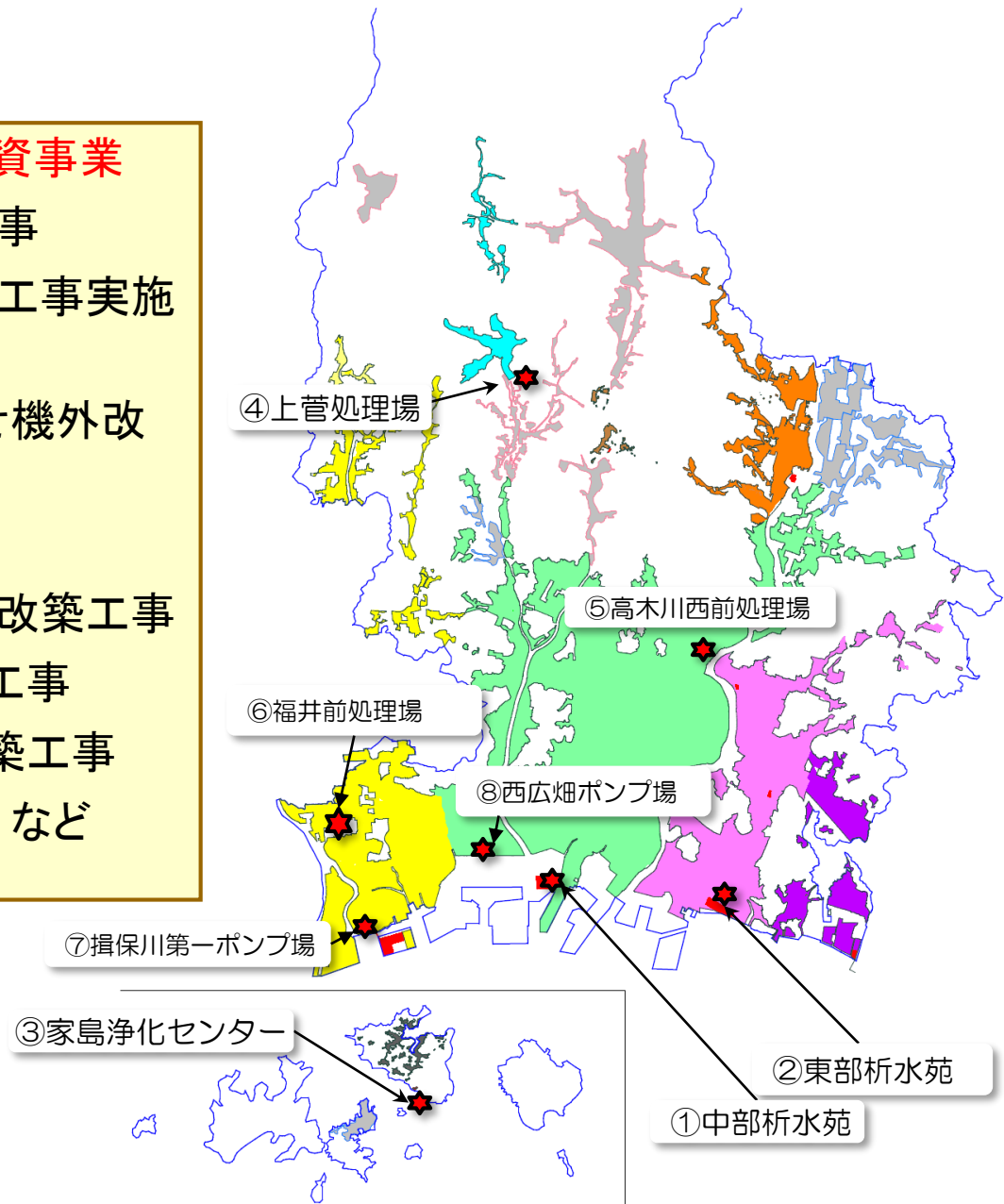
- ・引き続きストックマネジメント計画に基づく投資事業を実施
- ・導入可能性調査の結果に基づき、揖保川処理区でのWPPP導入に向けた準備

投資の合理化

施策1 計画的な投資と長寿命化

ストックマネジメント計画に基づく投資事業

- ①中部析水苑汚泥調整槽改築工事
- ②東部析水苑自家発電設備改築工事実施設計委託
- ③家島浄化センター汚泥かき寄せ機外改築工事
- ④上菅処理場沈殿槽外改築工事
- ⑤高木川西前処理場脱臭設備他改築工事
- ⑥福井前処理場主ポンプ外改築工事
- ⑦揖保川第一ポンプ場設備外改築工事
- ⑧西広畑ポンプ場改築設計委託 など



投資の合理化 施策2 民間の資金・ノウハウの活用

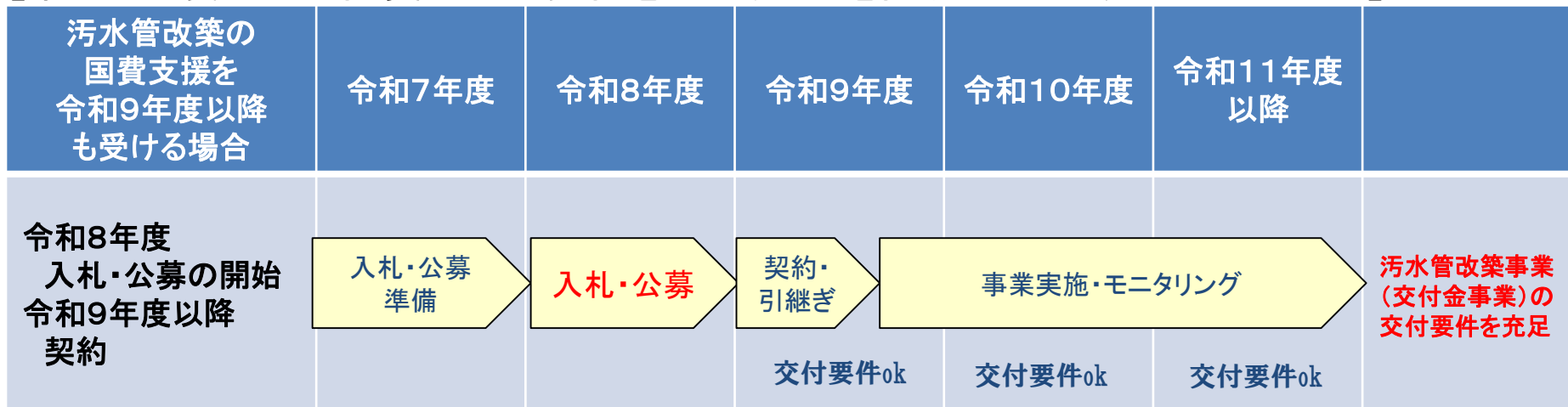
ウォーターPPPとは？

- ・令和5年度に国が新たに示した下水道事業等における新たな官民連携（PPP）手法（既存施設の日々の運転、保守、修繕、改築、更新等、維持管理が対象）
- ・職員数の減少、施設の老朽化、使用料収入の減少等、全国の下水道事業が抱える課題解決策の一つとして、国はこの制度の導入を推進している。
- ・「污水管の改築に係る国費支援」に関してウォーターPPP導入を決定済みであることが令和9年度以降の国費の交付要件とされた。

ウォーターPPPの導入検討

○「ウォーターPPP導入を決定済み」とは、レベル3.5の場合、入札・公募の開始時点

【令和9年度以降の国費の交付要件を満たすことを前提とした想定スケジュール】



投資の合理化 施策2 民間の資金・ノウハウの活用

令和6年度ウォーターPPP取組実績

- ・令和6年度より揖保川処理区と香寺処理区でウォーターPPPの導入検討に着手
- ・令和7年3月 企業向け説明会
55社(対面86名、WEB62名)が参加
- ・令和7年3月 アンケート調査
46社から回答
- ・令和7年5月 個別ヒアリング
22社が参加



企業向け説明会実施状況

- ・企業の関心は非常に高く、共に導入可能性があることを確認
- ・サウンディング調査結果を踏まえ、更なる公共サービス水準の向上等が期待できる
「揖保川処理区」を対象処理区とした。
- ・今後、対象業務等について引き続き検討し、令和8年度中の入札・公募を目指す。

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
3 危機管理体制の強化						
(1) 危機管理等 の体制整備	・計画に基づく訓練の実施 ①安否確認訓練（年1回）・・・約200人 ②参集訓練（年1回）・・・約160人 ③情報伝達訓練（年1回）・・・約12人 ④高砂市との合同訓練（年1回） ・・・各市4人ずつ	・事故対応への迅速化、 的確な対応力の強化	—			○
(2) 施設の耐震 化	・耐震診断 中部処理場、大塩処理場（沈砂池ポンプ棟） →R7繰越（継続実施）のため診断結果未 ・耐震補強工事実施設計 上菅処理場→R7繰越（継続実施） ・耐震補強工事 揖保川第一ポンプ場→R7繰越（継続実施）	・施設耐震性の確保	—			○
(3) 公共用水域 の水質保全	①定期的な水質検査 ・放流水等分析業務委託 ・流入水、処理工程水の定期的水質検査 →薬品投与等の運転管理に反映 ・水質異常時の臨時検査の実施 ②水質検査機器の更新 ③事業場への立入検査	・公共用水域の水質保全に 寄与	—			○

- ・施設の耐震診断及び診断結果に基づく耐震補強工事の実施
- ・定期的な水質検査及び検査体制の維持



- ・ストックマネジメント計画に基づく施設の改築更新にあわせた耐震化の実施
- ・引き続き検査体制の充実に取り組み、公共用水域の水質保全に努める

耐震化事業

(目標) ※新経営戦略

○処理場耐震化率

R6 14.3%(1/7箇所)

→R16 42.9%(3/7箇所)

○ポンプ場耐震化率

R6 56.3%(9/16箇所)

→R16 62.5%(10/16箇所)

(R6実績)

・耐震診断

中部析水苑

大的析水苑(沈砂池ポンプ棟)

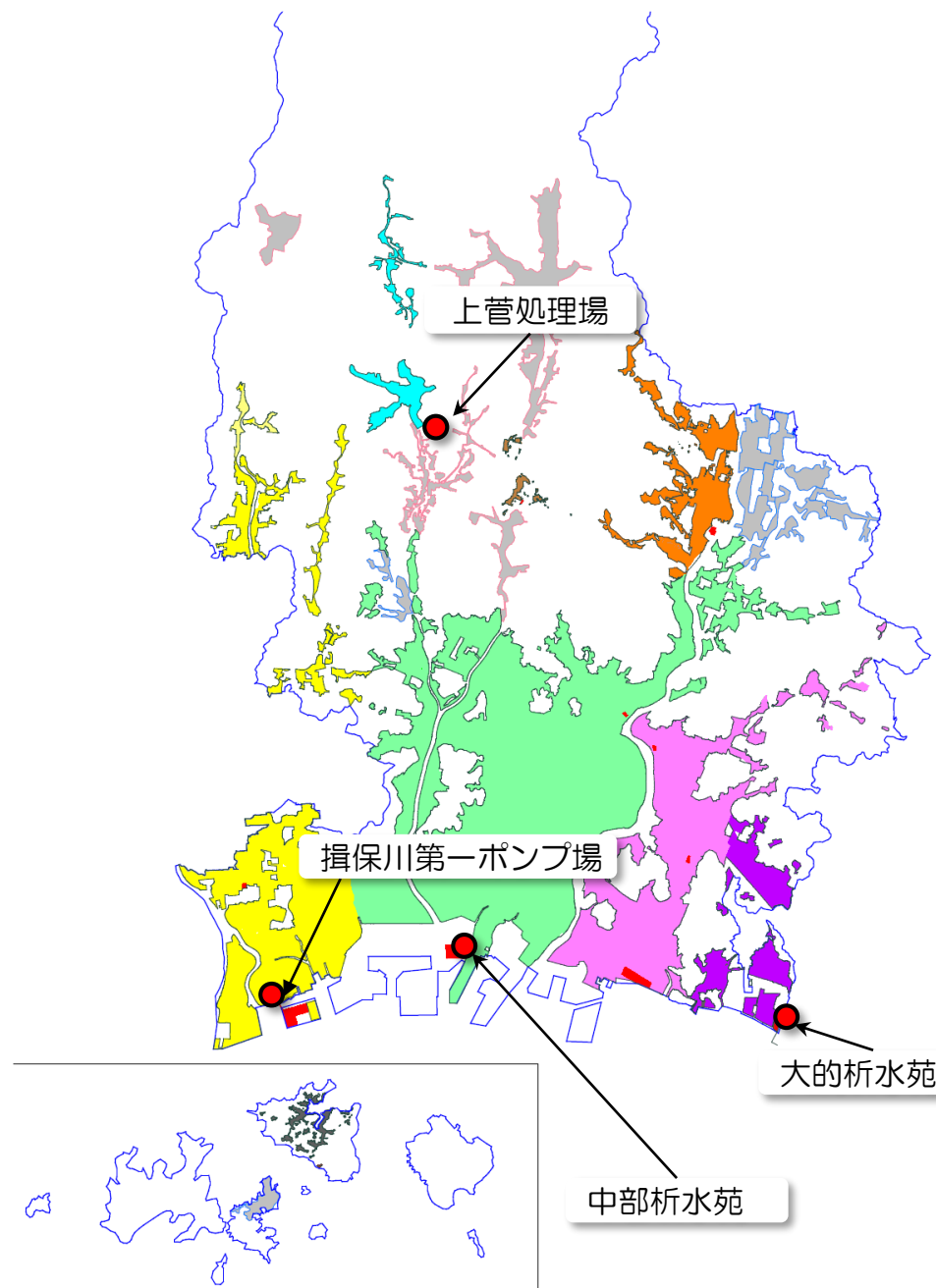
→継続調査中

・耐震補強工事実施設計

上菅処理場(設計中)

・耐震補強工事

揖保川第一ポンプ場(工事中)



施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
4 投資計画						
(1) 老朽化対策事業	老朽化対策事業 (R6) ・経営戦略 約 49.6億円 ・実績 約 32.1億円 OTVカメラ調査延長 R6 : 3.5km ○管渠更生延長 R6 2.2km	・老朽管による陥没事故等の予防 ・有収率の向上	有形固定資産減価償却率 (%)	28.0	37.1 (R5 : 35.3)	△
			管渠老朽化率 (%)	8.0	7.1 (R5 : 7.3)	○
			管渠改善率 (%)	0.25	0.07 (R5 : 0.17)	△

- ・「有形固定資産減価償却率」が計画より悪化しているが、計画期間中の管渠及び施設の更新が計画を下回っていることによるものである
- ・「管渠改善率」が計画を下回っているが、R6年度は主に工事の前段階である詳細調査や実施設計を実施し、工事実績があまり上がらなかったことによるものである



- ・ストックマネジメント計画に基づき、施設の改築更新に取り組む
- ・リスクの高いコンクリート管について、簡易検査やカメラ調査を実施し、これまで以上のペースで管更生を実施する

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
4 投資計画						
(2) 浸水対策事業	- 雨水管理総合計画に基づく投資事業 (設計) 大日増補幹線、東辻井幹線、御着雨水貯留施設 等 (工事) 八家川第五ポンプ場、大塩ポンプ場、福泊調整池、広畑区才地内(雨水) 下水道 等 (協議) 八家川第六ポンプ場、東山排水ポンプ場 - 雨水貯留タンク設置助成 R6実績：29件	・豪雨時の浸水リスクの低減	—			○
(3) コミュニティ・プラントと農業集落排水処理施設の公共下水道への接続廃合事業	・コミュニティ・プラントと農業集落排水処理施設を公共下水道へ接続(継続) - 生活排水処理施設数(事業開始当初40か所) R6：25か所(下水7、流域1、集排11、コミプラ6) → R17：8か所(最終)	・施設廃止に伴う維持管理経費の削減	—			○

- ・雨水管理総合計画に基づく投資事業の実施
- ・コミュニティ・プラントと農業集落排水処理施設を公共下水道への接続



- ・引き続き雨水管理総合計画に基づいた浸水対策事業を実施していく
- ・コミュニティ・プラント、農業集落排水処理施設の公共下水道への接続事業を引き続き進めていく

雨水管理総合計画に基づく投資事業

(R6実績)

- ・設計

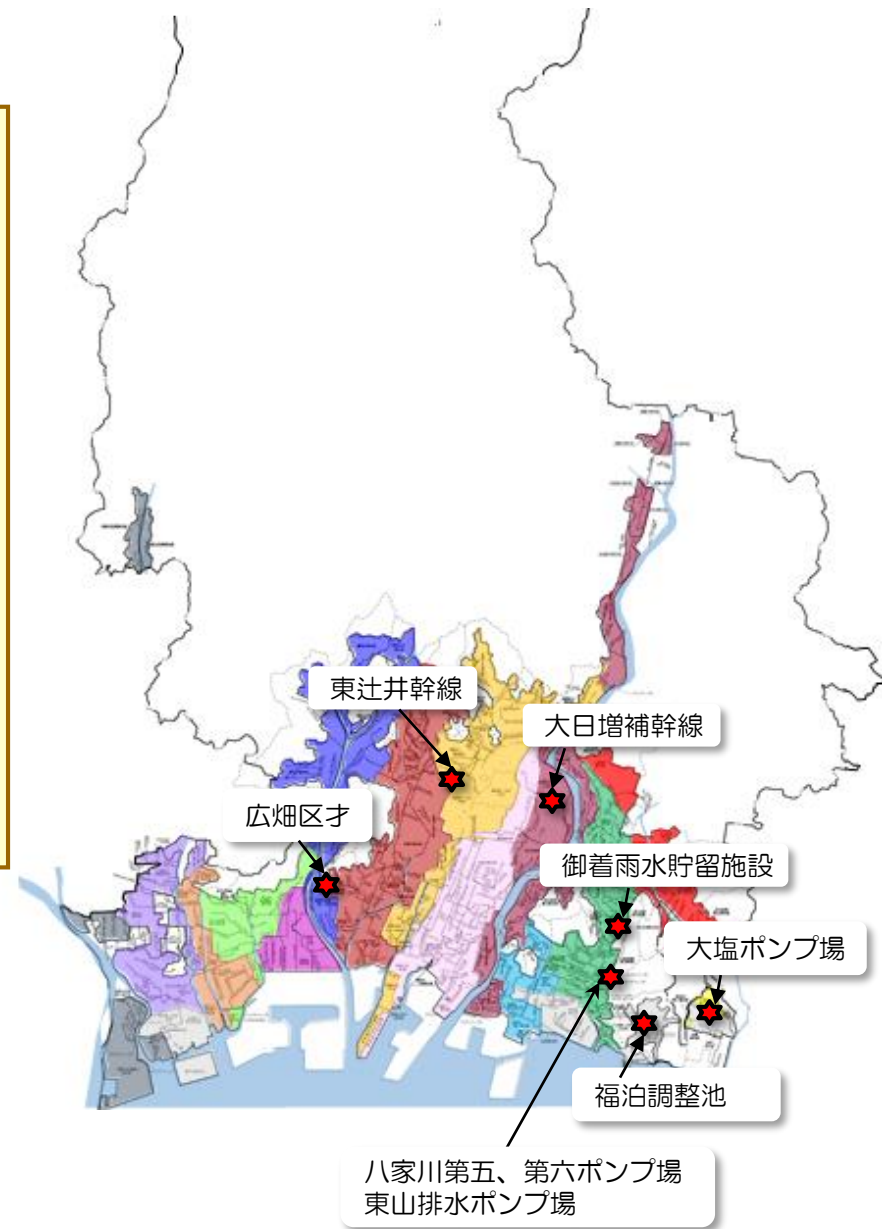
大日増補幹線、東辻井幹線、
御着雨水貯留施設 等

- ・工事

八家川第五ポンプ場、大塩ポンプ場、
福泊調整池、広畑区才地内雨水管 等

- ・協議

八家川第六ポンプ場、東山排水ポンプ場



生活排水処理施設(事業開始当初40か所)

(接続完了15地区)

コミプラ: 筋野

農集: 岩屋、細野、大釜、下伊勢、相坂、行重
矢田部、南恒屋、北恒屋、奥須加院
刀出、中村、上伊勢・大堤、久畑

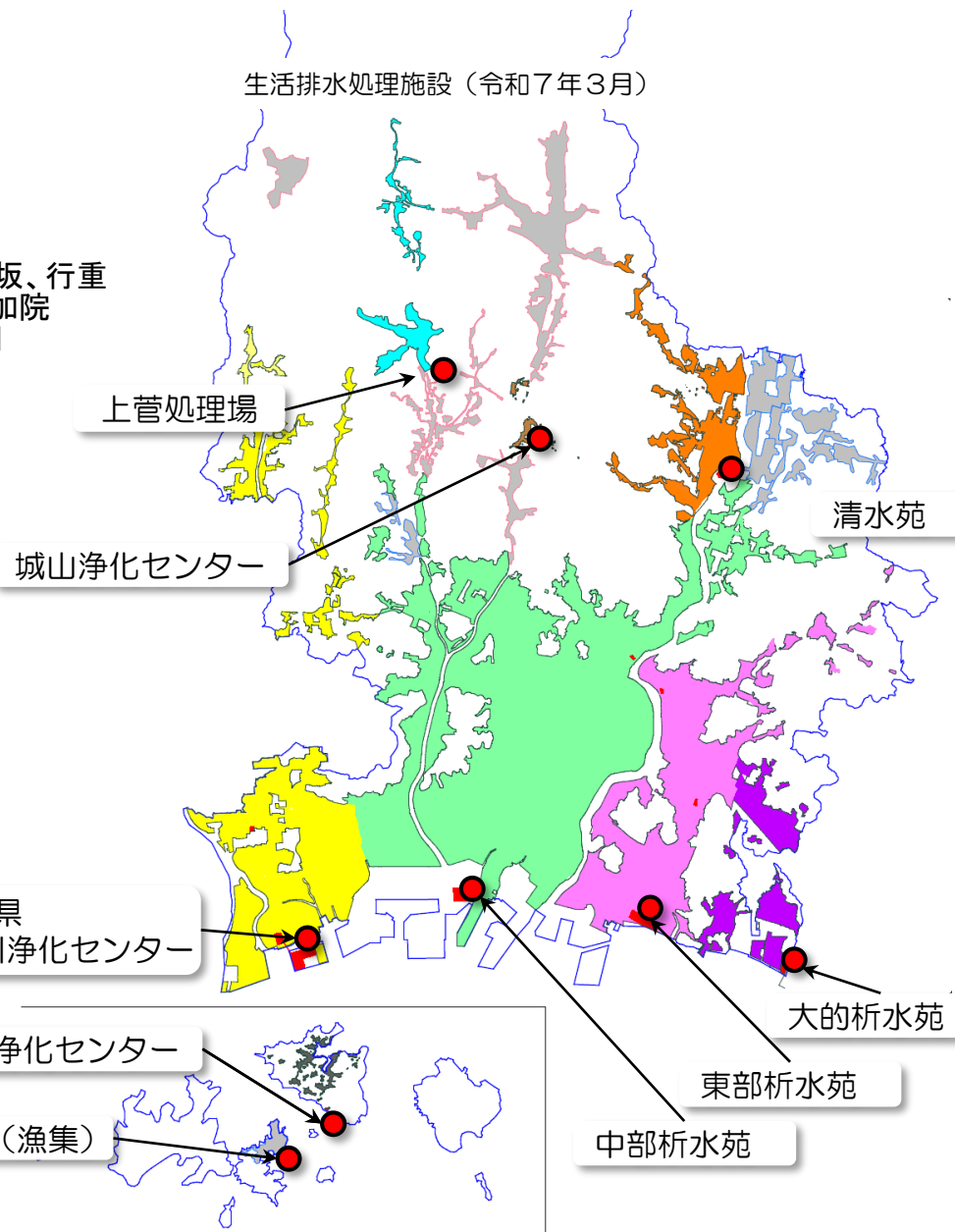
生活排水処理施設(令和7年3月 25か所)

- ◇公共下水道 : 8か所
- ◇コミュニティ・プラント : 6か所
- ◇農業集落排水処理施設 : 10か所
- ◇漁業集落排水処理施設 : 1か所
- その他(合併浄化槽)

生活排水処理施設(最終計画8か所)

- ◇公共下水道 : 7か所
- ◇漁業集落排水処理施設 : 1か所
- その他(合併浄化槽)

生活排水処理施設(令和7年3月)



その他

施策 1

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
5 その他						
(1) 経営の健全性の確保	①経営懇話会の開催 R6：3回（7月、8月、11月） 新経営戦略の策定に係る意見聴取など	・経営戦略策定における市民意見反映	経常収支比率（％）	100.0	100.0	○
			累積欠損金比率	-	-	○
			流動比率（％）	36.4	52.6	○
			企業債残高対事業規模比率（％）	573	524	○
			経費回収率（％）	100	97.7	△
			汚水処理原価（円/㎡）	177.5	168.5	○
			施設利用率（％）	56.7	61.5	○
			水洗化率（％）	97.9	98.2	○
(参考)			経費充足率	84.2	84.3	○

- 「経費回収率」が目標値を下回っているが、これはコロナ禍を経て計画時の想定以上に人口減少が進んだこと等から、有収水量・使用料収入が落ち込んだことが主な原因である



- 人口減少が進む中での持続可能な経営を目指して、使用料体系を見直した上で使用料改定を令和7年4月に実施

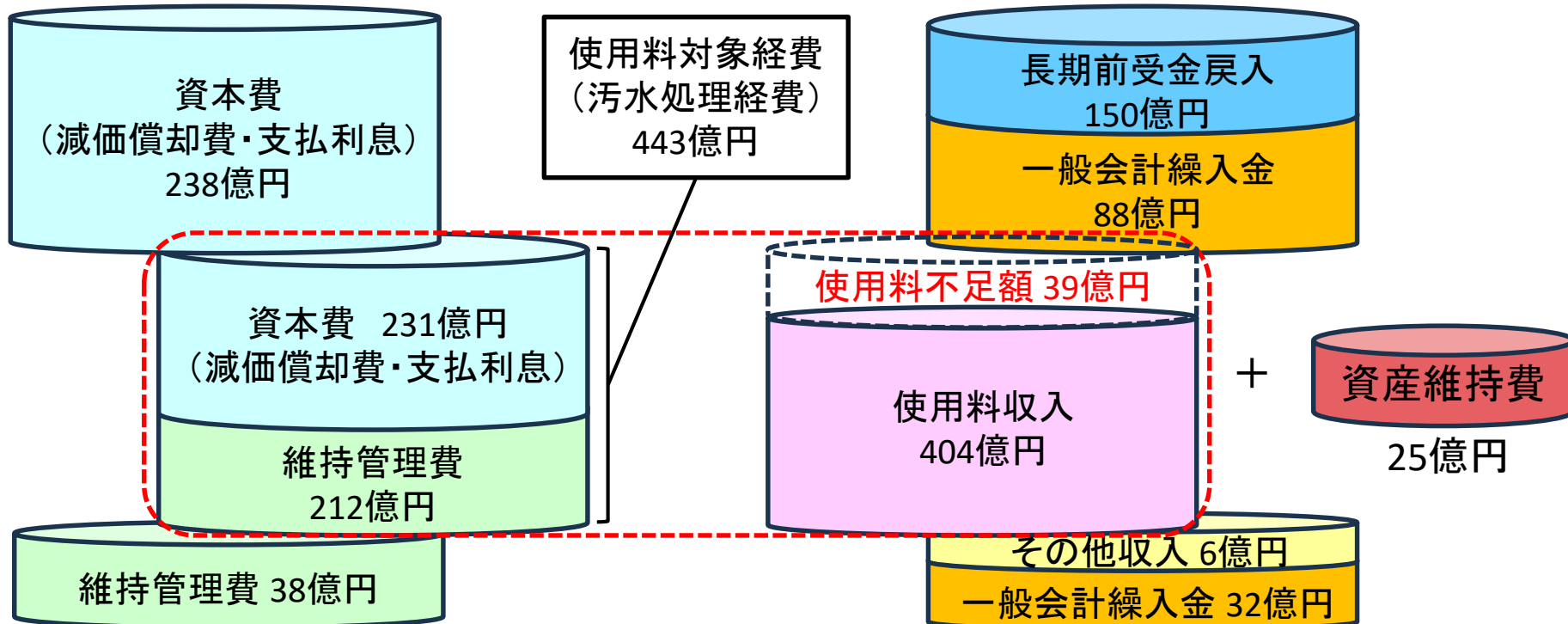
その他

施策1 経営の健全性の確保

(下水道使用料の見直し①)

下水道管理運営費
(一般汚水)
719億円

※使用料算定期間5年(R7~R11)で算出



- ・使用料不足額39億円＋資産維持費25億円を確保するため、15.8%の値上げ

その他

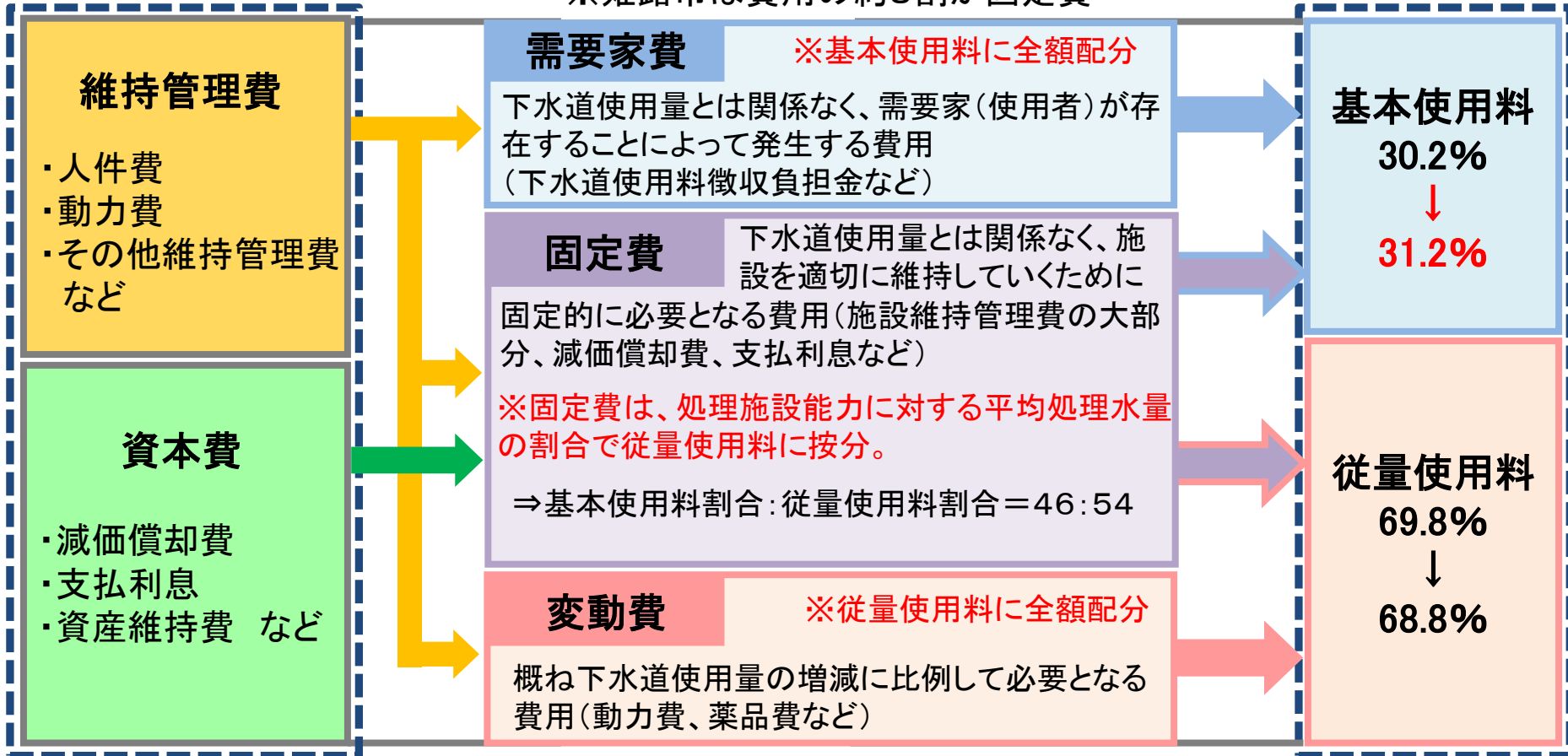
施策1 経営の健全性の確保

(下水道使用料の見直し②)

使用料対象経費

※姫路市は費用の約8割が固定費

下水道使用料収入



○累進度：(従量使用料最大単価)÷(10m³使用時の基本&従量使用料÷10)

(見直し前) 385円 ÷ {(860円+17円×10)÷10} = 3.74

(見直し後) 400円 ÷ {(1,030円+36円×10)÷10} = **2.88**